

event news

2013年10月イベントのお知らせ

「SE 構法構造見学会 (西区山手町)」
 「キンカンの工作室ミニチュア制作」
 「初めての家づくり教室 (ハツイエセミナー)」
 の3つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 構造見学会 (西区山手町)
21	22	23 キンカンの工作室 ミニチュア制作 教室	24	25	26 定期点検 (安佐北区)	27 ハツイエ セミナー
28	29	30	31			

『SE 構法構造見学会』

- 開催日：10月20日(日)
 - 開催時間：午前10時～午後3時
 - 場所：広島市西区山手町
 - 事前にご予約をお願い致します。
- 「決める前に必ず見ておこう。」

家は何十年も暮らすことになる家族の基盤です。子や孫の代の事まで考えると、ゆるぎない構造に支えられた“安心”と“安全”を軽視するわけにはいかないはず。エヌテックが家づくりで最も重要と考えている事は、「地震にも耐える構造の確かさ」です。パッシブデザインの家づくりも重要ですが、まずは構造がしっかりしていなければ元も子もありません。構造の確かさを満たした上で、パッシブデザインをより発揮させるために最適なのがSE構法です。鉄骨造やRC造、大規模建築物と同じ手法で構造計算されるSE構法には、在来工法で

必要となる耐力壁の数が大幅に低減できます。柱と梁の接合部にSE構法オリジナルの金物を採用するためです。見学会会場では、SE構法をご紹介します映像や実物大のカットモデルも展示致しますので、是非ご自身の目で確認し、その信頼性をご実感下さい。



『初めての家づくり教室』

- 開催日：10月27日(日)
- 開催時間：午後2時～4時
- 場所：Gallery 様 (エヌテック事務所隣)
- 事前にご予約をお願い致します。

【イベントへのご参加方法】

- 事前にご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。
- ・弊社ホームページのフォーム (URL <http://www.ntecj.co.jp/>)
 - ・エヌテック代表メール (info@ntecj.co.jp)
 - ・エヌテックへのお電話 (082-509-5771) 担当：佛崎(ぶつぎ)・松下まで

あなたが家づくりを始めるにあたって、是非知っておいていただきたい内容を集めたセミナーを開催いたします。

なぜこのセミナーをご紹介しますのかというと、家づくりは本当に高価で一生に一度の大きな買い物であるにもかかわらず建ててから「失敗した」や、「後悔している」と感じている人が大変多いからです。

このセミナーの一部を紹介すると

- ・日本に住んでいる私たちが絶対に知っておくべきこと
- ・一生快適で、光熱費一生ゼロの夢の家のつくりかた
- ・「今、太陽光パネルをつけておけば安心」の落とし穴
- ・「一流ハウスメーカーだから安心に違いない」の罠
- ・耐震等級3以上をなぜクリアしなければならないのか?

など家づくりを始める前に知っておいていただきたいことばかりです。

定員は、限定5組(申し込み順)となっておりますので今すぐお申し込みを!



セミナーの様子

超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.09 OCT. 2013

株式会社エヌテック

〒733-0007
 広島市西区大宮 2-13-7
 TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772
 E-mail:info@ntecj.co.jp
 HP:<http://www.ntecj.co.jp>



超・快適への道「快適は“質”の時代へ」②

「快適空間の質を考える、その2」

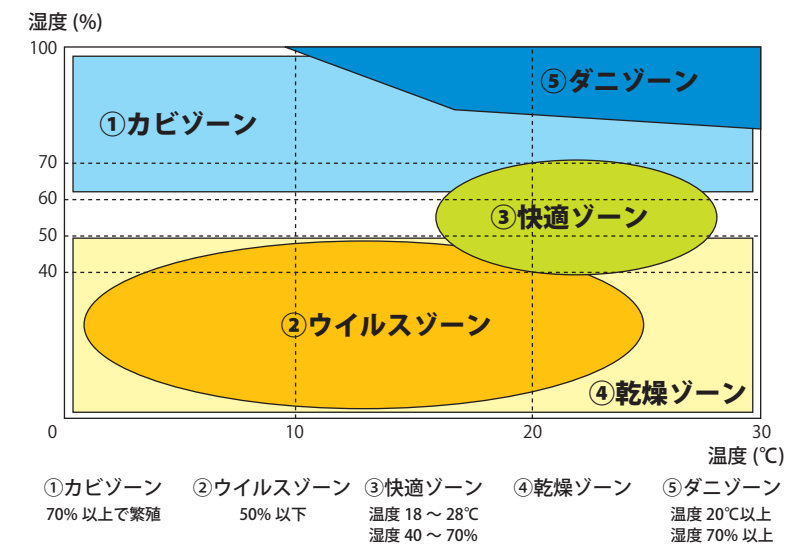
前回、快適空間は、ゼロエネと直接関係はないことを書きました。ゼロエネにすれば快適になるという意味ではないんですね。もちろん、エネルギー収支がゼロになって(つまり光熱費も収支ゼロ)、快適!であることが一番望ましいです。「快適」の意味については、使い勝手や好みのデザインなどいろいろありますが、室内の温熱環境に限定して「快適」と人が感じるの一体どんな状態なのでしょう?

個人差はありますが、概ね、夏で室温が30℃以下、湿度が60%程度、冬で室温が18℃以上、湿度が40%以上、であれば人は快適と感じるとされています(右表)。表にあるように、夏は温度が高いと湿度も高くなり、湿度が高いとより暑さを感じ、カビなどが発生しやすくなります。冬に乾

燥すぎると、寒さをより強く感じますし、ウイルスなどが繁殖しやすい条件となってしまいます。家の中に居る時間が長い居住者ほど、室内温熱環境の影響を受けやすいため、適切な環境を整えておくことで居住者の健康にも良い影響を与えることが分かります。表には出ていませんが、室内温熱環境は「ストレス」にも関係があります。冬に暖房したりリビングから非暖房室に移動した際の温度差による「ヒートショック」はかなり知られるようになりましたが、夏も同じです

ね。身体だけでなく温度差や不快感は精神的にもダメージがあります。人は温度湿度によって心身ともに強く影響を受けているのです。

では、どうやって適切な温熱環境を作ればよいのでしょうか?続きます。



「ひろしま満点ママ!!」
に出演

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室を開催致します!!

ミニチュア作家である「キンカンの工作室」こと、「萩谷幹」先生によるミニチュア制作教室。10月は、懐かしの喫茶店をテーマに「ナポリタンとクリームソーダ」の制作に挑戦していただけます。そして11月はクリスマスツリー、12月はお正月をテーマにした内容で開催予定です。まずはエヌテックまで参加希望のご連絡をお願い致します!

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室
 第七回:10月23日(水)午前10時~12時
 場所:Gallery「様」(エヌテック事務所横)
 料金:2,000円/1名(材料代・講習料込)
 制作品:ナポリタンとクリームソーダ
 ※先着8名様限定です。
 ※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。
 ※当日制作した作品はお持ち帰りいただけます。



10/23 制作品 ナポリタンとクリームソーダ

ゼロエネ研究所レポート

先月号で紹介したエヌテックゼロエネ住宅第一号こと「杏庵」(東広島市)の予測と実測と検証結果を、パッシブデザインコンペ2013に応募したところ、みごと住宅部門の優秀賞を受賞することが出来ました。10月2日に行われた公開授賞式では、設計担当の谷口と渡部が出席し、応募作品の解説を行い、審査員の先生方からは、「工務店と暮らし手さんとが楽しくコミュニケーションを取りながらやっ

パッシブデザインコンペ2013で優秀賞を受賞しました!!

ている事の素敵さが伝わりました。」ととても貴重な実績データなので今後もこういった活動を続けて下さい。」などのお言葉を頂戴しました。今回の作品応募に当たり、お施主様のT様には多大なるご協力を賜りました。誠にありがとうございました。今後もたくさんの予測と実測と検証を重ねて、皆様の暮らしのお役立ちが出来るよう努力してまいります。



エヌテックの応募作品。全体で24作品の応募があり、大賞の該当は無く、住宅部門3作品、施設・建築部門1作品が優秀賞を受賞。



My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『現場進捗状況』

土井長 元気

工務部の土井長です。前回に引き続き、現在の工事の進捗状況について報告致します。

現在、新築3棟、大規模改修1棟が進行中です。東区のT様邸は木工事が完了し、先日足場解体を行いました。現在は、内装工事・設備機器設置工事が進行中です。今月末の完成に向けてラストスパートです。

西区のK様邸は基礎工事が完了。上棟予定日が雨のため、その日は柱建てだけ行いました。14日に上棟を行い、20日には構造見学会を開催致します。

尾道のK様邸は基礎工事中です。こちらは26日に上棟の予定で、事務所では上棟へ向けての段取りを行っています。

安佐南区のN様邸改修工事は、木工事が終盤に差し掛かってきました。11月中旬の完成を予定しており、こちらもラストスパートに入りました。



『家守りはおまかせ下さい』

佛崎 浩平

お客様サポートの佛崎です。

先日のある夜、エヌテックOBのお客様から「床下から水が漏れているような音がするんです」と、お電話を頂きました。詳しく話をお聞きすると、水漏れが起きているのはそのお客様のご両親のお住まいでした。

そのお住まいは築40年。不具合が出てもおかしくはありませんが、水漏れは、他の部分にも影響を与え、被害を拡大してしまう恐れがあります。

すぐに現地確認に行ったところ、洗面台の給湯管からしづきを上げて漏れていました。

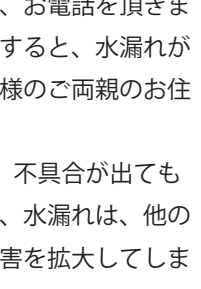
すでに夜ということもあり、お湯が使えなくなると困るなど思いながら、状況を確認し対応を考えていると…。

キッチンには瞬間湯沸かし器が設置してあります！浴槽には、風呂釜が設置してあり、お風呂にも入れます！！

ということで、全く湯が使用できなくなるわけではなかったのですが、一晩だけ給湯器で出湯をする部位だけ使用できない事のご了承をいただき、給湯器への給水バルブを締めさせて頂きました。

そして、その夜は配管からの水漏れも止まり、漏水による水道メーターの回転も止まったことを確認してから失礼をしました。

そして翌日、無事修理が完了しました。やはり水漏れの原因は、銅管の継ぎ手の溶



接部が劣化していることでした。築年数の長いお住まいこそ、定期的な点検やメンテナンスは長く住み継ぐために必要なことです。お困りの方は、是非エヌテックまでご相談下さいませ。

『住まい手様による家づくりブログ』

谷口 護

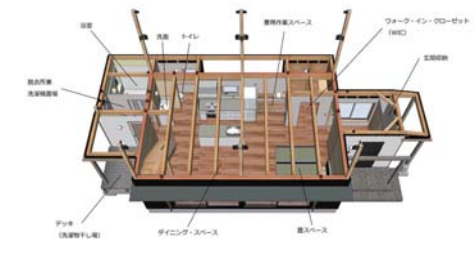
設計担当の谷口です。

エヌテックのホームページをご覧の皆様は、既にご存知だと思いますが、現在、住まい手様による家づくりブログ「Ginger House ができるまで。」を好評連載中です。

今年の6月末にお引渡しをした山口県下松市のM様にご協力を賜り、週1回のペースでブログの更新を行っています。

技術者でいらっしゃるM様による客観的な内容で博学能文なブログは、多方面から好評をいただいております。

また、第6回と第7回に登場したGinger Houseの3D画像は、M様ご自身が描いたものです！なんとお仕事でスケッチアップを使用されるとのこと。M様との打ち合わせ中には、スケッチアップで描いた画像を元にお話が出来たので、お互いのイメージが異なることもありませんでした。



第6回と第7回の3D画像

ブログの内容は、全てM様にお任せしているのですが、毎回私達も「なるほど～」と参考にさせていただいております。

家づくりが終わってからブログのご相談をしたにも関わらず、快く引き受けてくださったM様に心より感謝申し上げます。

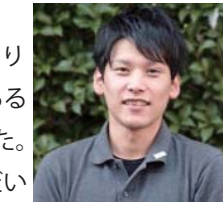
全何回になるのかは決めてはいたませんが、皆様の家づくりのご参考にできれば幸いです。そして翌日、無事修理が完了しました。やはり水漏れの原因は、銅管の継ぎ手の溶

『あぐりくらぶの稲刈り』

渡部 良佑

設計担当の渡部です。

9月15日(日)、あぐりくらぶの最終作業である「稲刈り」を行いました。今年は雨風の影響でだいぶ稲が寝てしまいましたが、作業はスムーズに進んだと思います。さすが皆さん手馴れていらっしゃる。



今年のおぐりくらぶ、振り返ってみると田植えが雨、草取りも雨…。稲刈りはさすがに大丈夫だろうと、日々の天気予報をチェックしていたのですが、まさかの雨。当日の朝カーテンを開けた時、硬直しました。

来年から企画者は僕以外でやらせようと思います。(笑)

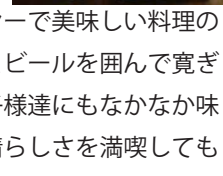
稲刈りは、あぐりくらぶの中で最も体力が必要な作業かもしれません。鎌で稲を刈り、手作業で束ね、はぜかけまでを行います。

天日干しされたお米はもうすぐご参加いただいた皆様のお手元へお届けに参ります。お子様の体験・教育のためにご参加いただける方々も多く、小さなお子様が一生懸命農作業をする姿は、とても微笑ましい光景です。

そして午後からは恒例の榲ガルトンでの昼食。今回も地元の食材をふんだんに使ったヘルシーで美味しい料理の数々が。大人は料理とビールを囲んで寛ぎの時間を、そしてお子様達にもなかなか味わえない大自然の素晴らしさを満喫してもらいました。

今年のおぐりくらぶも無事に終了しました。参加して頂いたお客様、ご指導をいただいた地元農家の三浦さん、リンケンさん、榲ガルトンの皆様、今年も楽しい思い出がたくさん出来ました。ありがとうございます。

そして、来年もまた開催できるようにしたいと思います。これまで参加されたことのない皆様のご参加もお待ちしております！



今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下 陽子



「国産ジーンズ：RED CARD」

10月に入っても台風の影響で夏のように蒸し暑い日が続いています。

早く本当の秋が来てほしい私ですが、ここ数年、夏が長いから秋が短いことに気がきました…。

さて、秋は、一年で最もおしゃれが楽しい季節だと思います。

夏は暑苦しかったジーンズの本格的な出番。ここでいうまでもなく、すでにジーンズは通年を通しての必須アイテムとなっていて、キレイ目からストリート系まで様々なジーンズが楽しめますよね。安い物からブランド品までである中で、私のイチオシは「RED CARD (レッドカード)」。輸入品のようなネーミングですが、

れっきとした国産ジーンズブランドです。ジーンズの醍醐味は履き続けることで徐々に身体に馴染んでくると、色褪せ具合が風合いとなって様になってくると、だと思えます。

まさに、自然素材の家と同じなのですが、生地自体の織り、染め、そして縫製などの良さがあって初めて風合いとして愛着がわく一着になると思えます。やはり素材の良さが決めて！そんなところも家と同じですね。レッドカードのジーンズは、日本製だけあって日本人の体形を素敵にカッコよく見せると評判です。ジーンズとしては、安くありませんが、着用頂くと良さに納得の一本になること間違いありません。



「RED CARD」HP: <http://www.guestlist.co.jp/redcard.html> 直販店はなし。正規ネット通販がいくつかあります。

快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



「パッシブデザインコンペ2013」

残暑も過ぎ少しづつ肌寒い気候になってきました。隣のギャラリー「榎」に設置した光冷暖システムももうすぐ冬モードに切り替わることになりそうです。室温23.8℃、相対湿度58%、絶対湿度12.48g。とても快適な温熱環境に保たれているようです。

ところでパッシブデザイン協議会主催のパッシブデザインコンペにエヌテックからも応募しました。谷口が中心となって渡部はじめ他のスタッフがサポートに回り連日深夜まで資料作りに専念していたようです。そして見事住宅部門の優秀賞を受賞しました。

本当におめでとう！！！！

「パッシブデザインによるゼロエネルギー

住宅の予測と検証」という長いネーミングですが、自分達がシミュレーションした家庭内で使用するであろうエネルギー予測と実際に1年間暮らしてのエネルギー比較を検証する試みです。パッシブデザインを取り入れた住宅とそうでない住宅のエネルギー比較をすることでパッシブデザインの効果を数値で算出します。そしてまずは予測することが大切なことなのですが、もう一歩踏み込んで実測値と予測の何がどのように誤差を生じるのか？またその理由は？そのような比較検証する取り組みを評価いただいたようです。今回その検証にご協力いただいた住まい手様のT様にこの場を借りて御礼申し上げます。「ご協力いただきありがとうございます。」「

ちなみにそのT様宅は未だにエアコンは設置してありません。(この酷暑の夏をどう乗り切られたのか?) 信じられませんがとても快適にお住まいのようです。これもパッシブデザインを取り入れたおかげですね。